

# 白鳥

第173号

全国低肺機能者グループ  
東北白鳥会

〒980-0022  
仙台市青葉区五橋2-12-2  
仙台市福祉プラザ8F



表紙の写真は佐々木信一氏作品です

東北白鳥会は、左記の項目の実施を切に要望します。

- ・ 内部障害者等級の見直しと福祉制度の向上
- ・ 肺移植の助成と医療費の保険適用
- ・ 保健所の呼吸器教室を制度化し全国実施
- ・ 訪問診療、看護、介護の充実とリハビリ指導
- ・ 呼吸療法士資格の設置と知識の普及
- ・ 禁煙普及・公共機関等の無煙化
- ・ 呼吸器科医師の増員と熟練医師の再任制
- ・ 通院サポート制度の確立
- ・ 低肺ホームの設置
- ・ パルスオキシメーターの貸与
- ・ 呼吸不全者の三級医療費助成

地域の皆様のご理解とご支援により、一日も早い施策の実現を懇望致します。

## 目次

平成十七年度総会にあたって：会長 渋谷 章	1
総会のメッセージ・祝電披露	3
十七年度総会報告書	19
白鳥会役員名簿	26
ご支援ありがとうございます	27
禁煙を考える	30
生活習慣病予防心術	34
血液・液(血液と健康は密接な関係)	38
村上会長さんありがとうございます	40
委任状に添えて会員だより	42
地球温暖化と気象変動	45
宮町・東照宮界限	47
チャリティコンサート	50
編集後記	51

## 平成十七年度総会にあたって

東北白鳥会 会長 渋谷 章

仙台のけやきも一層青さを増して、街の彩りを鮮やかに整えてくれております。

皆さま、その後如何お過ごしですか、お見舞い申し上げます。

さて、今年も総会の時期を迎える季節となりました。昨年は、村上前会長が、体調を崩し、会長不在の総会を過ごし、まもなく会長の死去という、当白鳥会にとっては、最大の危機を経験いたしました。その後多くの方々の協力によって、早一年を経過いたしました。

東北白鳥会が、世に出て二十年を経過いたしました。当時の会を支えてきた会員が、次々と世を去り、会を支えてくれる人たちが残っておりません。まだまだ多くの苦しんでいる人たちが多い会の現状を考えてみますと、灯を消してはならないと心に念じながら頑張っております。今實質的に会を支えているのは、村上前会長の学友グループと男性三人のボランティアの人たちです。低肺の団体といいながら、自分で会を支えていけないと言っているのは何とも残念でなりません。然しながら、これが会の現実の姿であります。更にもう一つ大事なことは、我々の団体に多くの支援者が存在することです。

大学や医療に携わっておられる先生方をはじめとして、毎年チャリティーの日本舞踊やコンサートなどとして頂

いている支援者、そして東北電力や卸町をはじめとする経済界、等々、多くの支援者がおられます。会の運営はこれら支援者の貴重なご援助で活動が出来ております。

会活動の最大の仕事は、年四回の会報の発行であります。多くの会員さんに低肺活動の現状と低肺に苦しむ会員に向けて各種の情報を伝えることを基本にして発行しております。これとて会費では到底まかない切れません。会報は、毎回一〇〇〇部近い数を印刷しており、多くの会員をはじめとして、会員ではないけれど、期待をしながら読んで頂いている人たちにもお送りしております。これも、多くの支援者がおってこそ出来る事業であります。

今、まだまだ多くの課題は残されており、困難な情勢にはありますが、一步一步着実に進んでいくことが大事と思っております。その中で当面の課題として、二級障害者への格付けと、リハビリ教室の各地における実施が急がれておるところと思います。いろいろなところで叫ばれておりますが、なかなか十分な対応がなされておらない実情であります。

今後とも声を大にして訴えていきたいものと思っております。

平成十七年六月十五日

## 総会のメッセージ・祝電披露

宮城県知事 浅野史郎

平成十七年度東北白鳥会定期総会の開催を心からお祝い申し上げます。

日ごろの皆様方の活発な活動に敬意を表しますとともに、貴会の今後ますますの御発展と御参加の皆様のご健康、御活躍をお祈り申し上げます。

仙台市長 藤井 黎

東北白鳥会平成十七年第二十二回総会が開催されますこと、心よりお喜び申し上げます。貴会の様々な活動が低肺機能の方々の福祉向上に極めて大きな役割をはたしております。このことは渋谷会長を中心とする会員皆様のご尽力のたまものであり、心から敬意を表するところでございます。

本市といたしましても、障害者福祉のより一層の推進をはかっていますので、皆様のご理解とご協力をたまわりますよう、ご期待申し上げますとともに、貴会の今後ますますのご発展と会員皆様のご健康をお祈り申し上げます。

宮城県医師会 会長 師 研也

平成十七年度東北白鳥会第二十二回総会開催をお祝い申し上げます。

村上前会長逝去後その遺志を受け継ぎ、渋谷会長のもと、会員の皆様方がそれぞれの障害を抱えながら白鳥会を支え、素晴らしい活動を続けられていることに深く敬意を表します。

白鳥会の皆様方に必要な医療、福祉面の改善、充実が一層計られるよう期待しますとともに、貴会のますますの発展に向かって総会が意義ある成果をおさめられることをお祈りいたします。

仙台市医師会 会長 千田典男

平成十七年度東北白鳥会定期総会のご盛會を祝し、併せて今後益々のご発展と皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。

国土交通大臣政務官

衆議院議員 中野正志

(4)

東北白鳥会平成十七年度の総会の開催を心よりお祝い申しあげますとともに、渋谷会長はじめ会員皆さまのご

尽力に深く敬意を表します。

故村上きみ子様から頂戴致しましたご意志をこれからも政治家として万難を排し、解決してまいります。渋谷会長を中心に村上前会長の意思を受け継いで東北白鳥会がご発展されますことをご期待申しあげますとともに障害者福祉向上のため皆さまとご一緒に微力ながらお手伝いをさせていただきますので、ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

最後になりすが、会員皆さまのご健康とご活躍をお祈り申しあげます。

衆議院議員

伊藤信太郎

東北白鳥会の総会のご盛会をお喜び申し上げますとともに日頃における皆様のご活躍に対し心か敬意を表したいと存じます。

宮城県においては「日本一の福祉先進県づくり」を県政の柱として障害者福祉に取り組んでおり、安心して生活を送れる社会実現に向け努力されておりますが皆さんの抱えている諸問題解決のため私も国政の場に於いて推進して参ります。

会員皆さまのご健康と東北白鳥会のますますの発展をお祈りいたします。

衆議院議員 西村明宏

平成十七年 東北白鳥会第二十二回総会開催のご盛会を心からお祝い申し上げます。  
貴会の皆様が医療と福祉の向上にご尽力されておりますことに敬意を表します。  
貴会の益々のご発展とご奉会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

参議院議員・医師 桜井充

東北白鳥会第二十二回総会のご開催を心からお慶び申し上げます。

発足より長い年月にわたり、ご尽力をされております皆様に敬意を表します。

私も、岩手病院で呼吸医として携わってきた者として、皆様のご苦勞が並大抵のものではないということは十分承知しております。また、呼吸器疾患には障害者の二級がなく、多大なご苦勞をされている方達がいらっしゃるのです。この問題を早期に解決すべく国政で頑張つてまいる所存です。

村上会長のご遺志をお守りいただき、渋谷会長を始め、会員の皆様のご結末とご健勝をお祈りいたしますとともに、東北白鳥会のご発展を心よりご祈念申し上げます。

## 宮城県議会副議長 石橋信勝

東北白鳥会の平成十七年第二十二回総会の開催、まことにおめでとうございます。

渋谷会長のもと、皆様が低肺の方々を取り巻く様々な課題を解決するため、一生懸命奔走されていることに対し心から敬意を表しさせていただきますとともに、今後益々のご活躍に期待しております。

先日、自宅で資料の整理をしていましたところ、村上きみ子前会長からいただきましたお手紙が出てきました。あまりのなつかしさにしばらくじーとその手紙をみつめていました。低肺患者の課題解決に熱心に取り組まれました村上前会長の切々たる思いが伝わってくる内容でした。真剣なお姿が眼前にうかび、私は思わず「村上会長、微力ですが一生懸命頑張りますので、ご安心下さい。」と心の中でつぶやいていました。これからも、皆様のお役に少しでもたてるよう頑張ることを改めてここにお誓いするしだいです。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、私のメッセージといたします。

## 宮城県議会議員 長島秀道

東北白鳥会第二十二回総会の開催を心からお祝い申し上げます。そして、村上前会長のご遺志を受け継ぎ、渋谷会長のもと役員の皆様が一丸となつて、この一年間の活動を進められてきた事に敬意を申し上げます。次第でございます。さらに会員の皆様が呼吸器障害を乗り越えて毎日を明るく前向きに暮らされています事にも本当に心からの敬意を表したいのでございます。



呼吸器障害という難病の治療と生活環境も少しずつは改善が図られておりますが、本当に安心して日常生活を送るためにはまだまだ問題が山積しております。皆様の要望が一つでも多く一日も早く実現されるよう、私も県議会の場で一層努力して行きたいと思っておりますので、白鳥会の皆様も病に負けることなく頑張っていたいただきたいと思っております。

皆様のご健勝をお祈り申しあげます。

宮城県議会議員 中沢 幸男

第二十二回総会のご盛会をお慶び申し上げます。この一年間は、渋谷新会長さんはじめ、役員の方々のご奮闘には敬意を表するに余りあるものと存じます。

これからは、村上前会長さんのご遺志を会員一丸となって邁進されますよう、心からお祈り申しあげます。私も面名様のお役に立てるよう頑張ります。

宮城県議会議員 藤原 範典

第二十二回東北白鳥会総会おめでとございます。

村上きみ子前会長のご遺志を立派に引き継がれての皆様の活動に心から敬意を表します。

「日を向けられずにいる人々に気を配り、傷つきやすい人々を保護し、苦しむ人々に奉仕し、彼らが自ら能力を伸ばし、希望を追求できるようにしよう。」というのは、地球憲章の有名な一節です。

生きとし生きる人々がいきやすいように制度政策を整えるのが政治と行政の責任であると思います。皆様のご意見を伺いながら、微力ながら努力させていただきます。

(財) 仙台市身体障害者福祉協会 会長 大沼 修

「東北白鳥会」の皆様へ

新緑がさわやかに目に映じ肌に当たる風も心地よく感じる季節になりました今日の日、平成十七年第二十二回の定期総会を開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

二十二回という長期間にわたり、東北白鳥会が大きく発展してこられましたことは、ひとえに、会員皆様の団結の力とそして情熱、また故村上前会長、そして渋谷章現会長はじめ役員の皆様様の並々な努力の賜物との感がいたし、深く頭が下がる思いが致します。

皆様ご存知のように障害者を取り巻く現状は、激しく揺れ動く変化を伴った状態になっております。一昨年に始まった支援費制度に始まり、介護保険との統合問題、そして障害の種類を問わない福祉サービスの一元化や、サービス利用者となる障害当事者本人等に原則一割の応益負担を課す等を内容とした「障害者自立支援法案」が連休明けより本格的な国会審議に入ろうとしております。

このような混沌としております障害者福祉の現状を深く考え、そしてその歩み行くべき方向を正しくして、一

歩いや半歩でも前進する障害者福祉を目指して努力していくべく我々同士が手を取り合って頑張って行かなければと思っております。

最後に、皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに「東北白鳥会」のますますのご発展を祈念してご挨拶といたします。

日本学術会議会員

東北厚生年金病院 名誉院長 藤村 重文

二〇〇五年東北白鳥会総会によせて

この度東北白鳥会第二十二回総会が開催されること同慶に存じます。

本会は、当初呼吸器障害に苦しむ方々自らの多大なご努力によって設立され発展を続け、今や全国に名を馳せる大きな組織に成長されました。

ご承知のように、わが国社会は戦後六十年が経過した現在、高齢化が進行し疾病構造も加齢や生活習慣 環境汚染などに起因するような疾患が有意に増加してきています。

一方、わが国では急性期医療と慢性疾患の長期的管理の充実と効率化が、特に医療経済面からみて大きな課題とされていますが、後者における呼吸障害者に対する施策に関しては決して満足すべきものではないという現状であります。在宅酸素療法についても、一九八五年に保険適用となり、二〇〇一年には全国で十二万人に適用さ

れるようになりましたが、それに関しても、適応認定基準や経済的支援、さらに自己管理指導などの面などでの現状は満足すべきものではないと認識しています。

医療に関わるものと患者と行政が一体となって満足のいく呼吸健康管理や治療が行えるようになるために今後さらなる努力が必要であります。

東北白鳥会の皆様が希望ある将来に向けて常に前向きに進まれることを切に希望するものであります。

東北大学加齢医学研究所呼吸器再建研究分野 教授 近藤 丘

東北白鳥会の第二十二回総会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

月日の経つのは早いもので、村上前会長が幽明異にされてからもはや一年が過ぎようとしております。村上さんは自らも呼吸不全でありながら、積極的かつ精力的に白鳥会そして呼吸不全の患者について世の中への訴えかけと啓蒙活動を行ってきたと言えます。どのような会でありましても、いずれ会長はかわり、会員も変わっていきます。しかし、会の存続の理念を見失うことなく、しっかりと目標を定めて何を為すべきか真摯に考え行動をしていけば、必ずや会の発展と目標の達成が成し遂げられるものと私は思います。

会の存続に向けて、残された人たちにかかる負担はさぞや重いものがあると思いますが、会の理念を實踐していくことに注力し、守りではなくより積極的な攻めの姿勢で会を發展させていっていただきたいと思えます。私は肺移植という治療法を臨床で実践しておりますが、ご存知のように日本におきましては臓器移植自体がなかなか欧米のように普及して参りません。臓器提供意思表示カードの普及にせよ、法律の改正にせよ、やはり世の

中を動かすもつとも大きな原動力となるのはその医療を必要としている当事者の粘り強い声であります。私もも出きる限りの応援はするものの、何といつても当事者の声が無いと物事は進みません。白鳥会の皆様におかれまして、どのような方法であれ、会の目標とするところについて当事者の声を辛抱強く社会にアピールし続けていくことがまさに重要なポイントであろうかと思えます。呼吸不全という大変なハンディキャップを背負っている会員の皆様にはまことに厳しい負担ではあるかと思えますが、どうかくじけることなく一步一步前進をしていっていただくようお祈り申し上げます。

私の総会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

東北大学加齢医学研究所呼吸器腫瘍研究分野 教授

第四十七回日本呼吸器学会学術講演会 会長 貫 和 敏 博

東北白鳥会平成十七年第二十二回総会にあたって

村上きみ子前会長の御遺志を継いでの活動継続すばらしい限りです。村上様の顔を思い浮かべるだけでエネルギーが湧いて来る。皆さんそう感じておられるでしょう。

呼吸器疾患の中には、病勢に押され、患者様のグループ活動のかなわない方々も多数いらつしやいます。肺がん、肺線維症などです。加齢医学研究所で治療を続けて来たこうした患者様にもどうか皆様のエネルギーを与えて下さい。がんの患者様にも介護保険が適応される。当然のことですが、すばらしいことです。

二〇〇七年には日本呼吸器学会を仙台で開催できますよう準備を開始しています。この学会では患者の皆様

連携をはかることも考えています。あるいは世界から呼吸器の患者様が集まるかも知れません。皆様の御力添えをお願い申し上げます。

東北大学大学院医学系研究科内部障害学分野 教授 上月正博

東北白鳥会総会に寄せて一言述べさせていただきます。

内部障害者等級の見直しと福祉制度の向上にむけて、活動中ではありますが、いまだに実現をみるにいたっていないことはご承知の通りです。

先月、宮城県内の在宅酸素療法をされている皆様にアンケート調査をさせていただきました。内容は、呼吸リハビリの実態調査、希望リハビリ形態（外来、入院など）に対する意識調査などです。現在、回収中ではありますが、多数の質問であるにもかかわらず、御協力をいただき誠にありがとうございました。結果がまとまり次第、様々な機会に御報告させていただきます。

先週、北九州市の身体障害者福祉法第十五条指定医師研究会の講師として話をする機会がありました。北九州市の指定医師の間でもこのことが疑問視されており、来月には飛田 涉教授を会長に日本呼吸管理学会が仙台で開催されますし、今後は呼吸障害に対する啓蒙活動をいっそう活発に行ってまいりたいと存じます。

東北大学保健管理センター所長

第十五回日本呼吸管理学会学術集会 会長 飛田 渉

東北白鳥会の皆様へ

会の発足以来二十余年にも亘って、我が国における呼吸器疾患で悩む患者様のリーダーとしての役割を果たしてこられた東北白鳥会の皆様の日頃の活動に対しまして心から敬意を表したいと存じます。

私は来る七月二十九日、三十日と仙台国際センターに於きまして、第十五回日本呼吸管理学会学術集会を開催致すことになりました。医師のみならず看護師、保健師、呼吸療法士、理学療法士、栄養士、薬剤師、臨床検査師、医療機器担当者、福祉関係者等々約千三百名が一堂に会する学会です。今や二十一世紀における在宅医療の軸ともいえる在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法などの呼吸ケアを中心に、「HOT」な議論を取り交わし、今後の呼吸ケアの在り方を探り、そして患者様のQOLの向上に大きく貢献したいと思えます。翌七月三十一日には東北大学川内記念講堂において「タバコ病から肺を守ろう(案)」で市民講座の開催を予定しております。詳細がまとまりましたらご案内申し上げます。真夏の時期でありますので十分体調にご留意されながら、ご家族皆様でご参加頂ければ幸いです。

末尾となりましたが、東北白鳥会の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

## 仙台循環器病センター呼吸器科 部長 岡山道子

今年も冬が長く、春になってもインフルエンザが長期にわたり流行しましたが、皆様、お変わりなくお過ごしでしたでしょうか。

さて、青葉の陽に映える頃となりましたが、この度、村上きみ子前会長の意志を受け継ぎ、渋谷章新会長のもと、白鳥会の皆様のご尽力され、第二十二回白鳥会総会をお迎えになられましたこと、本当におめでとうございます。

白鳥会がさらに一層充実拡大し、息切れない生活を實現する実質的な源となることを、祈念いたしますとともに、医療人として皆様のお役にたつことができれば嬉しく思います。心をよせあい、励ましあい、役立つ情報を交換しあい、助け合って、共に健やかな日々を送れるように力を合わせましょう。皆様のご健康を心よりお祈りいたします。

福田内科クリニック 院長 福田陽一

総会にあたり、ここ一年間悲しみに打ちひしがれることなく、活動を続けてこられた会員の皆様の御苦勞に対し、まず心からのねぎらいの言葉を申し上げたいと思います。みちのくの白鳥は、強さを持っていたのだとあらためて思いました。

いろいろな患者さんと接するたびに、なんとか束の間でも病気であることを忘れさせて上げられないものかと



は思うのですが、鼻メガネを外す訳にはいきません。しかし、呼吸不全に対し栄養やリハビリ、精神的サポートなど、総合的に患者さんを支えようとする歩みが止まるところなく続いています。

会員の皆様が、活動を続けていらつしやること、そのものが医療の質を上げていくことにつながっています。どうか今後もますます会を盛んなものにされますよう期待申し上げます。私も微力ながら参加させていただければと存じます。

どうぞよろしくお願い致します。

全国低肺機能者団体 徳島O<sub>2</sub>会 名誉会長 湯浅喜三夫

第二十二回東北白鳥会総会が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

村上きみ子前会長さんの御遺志を引き継ぎ、渋谷章会長さんのもと各役員 他会員一同様が幾多の困難を克服し、会の運営に尽力されました。ご苦勞は言い尽くせないものであろうと思います。同じ悩みと不安を持つ患者さんにとって、お互いに励まし合い親睦をはかることは大きな力となることと思います。

昨今、福祉助成行政厳しくなり、私達障害者の生活の不安ますます大きくなりつつあります。今後より一層友好の絆を結び、福祉行政の発展のため、共に働きかけて行きましよう。

貴会の益々の発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

呼吸器機能障害者団体 横浜市もみじ会 会長 齋藤勝廣

東北白鳥会様の第二十二回総会が、盛大に開催されましたことは、誠にありがとうございます。東北白鳥会様のグループに、横浜市もみじ会を加えて頂き、種々ご指導とご支援を賜っておりますが、心から感謝申し上げます。

貴会の皆様、渋谷会長様を中心に、今は亡き村上前会長様のご遺志を立派に受け継がれ、呼吸器障害者団体としての活動を、益々発展させましたことは、グループ一員として、こんな嬉しいことはありません。これも長年村上前会長様とご一緒に、会員の皆様が培われた東北白鳥会様の強力な基盤があつたからで、そのご努力に敬意を表します。

今、国や地方自治体は、財源難を理由に全ての福祉関連予算を削減し、しかも、障害者の自己負担増を強い、福祉施策を後退させようとしております。このような流れの中の今回の総会は、活動計画や予算面においても方向付けが大変難しいものになろうかと存じますが、同時に呼吸器障害者団体の活動の指針ともなる意義深い総会でもあります。私ども横浜もみじ会としても、皆様のご決意に注目したいと存じます。この総会が、皆様の一層結束が約束され、難関を乗り越える決意の場となることを、期待しております。

貴会が、今後も渋谷会長様のご指導のもと、益々ご発展されますと同時に、皆様のご健康並びに第二十二回総会のご成功を祈念して、お祝いの言葉といたします。

帝人在宅医療東日本(株) 仙台営業所 所長 竹林達男

東北白鳥会様 第二十二回総会のご開催誠にありがとうございます。

白鳥会様は、会長様はじめ會員皆様が一体となられ、本当にすばらしい活動を長年にわたって継続されていらつしやいます。心から敬意を表したく存じます。

弊社は在宅酸素療法を通じて、皆様方のお手伝いをさせていたいております。本邦で在宅酸素療法が保険適応になってから今年で二十年になりました。その間、酸素供給機器の開発発展には目覚ましいものがありました。大きくて重い器械やポンベなど昔のことを思い出しますと感慨深いものがございます。サービスにつきましても二十四時間対応、全国旅行サービスはもちろんのこと、様々なサービスを展開してまいりました。しかしながら、機器サービスともまだまだ改良を進めていかななくてはいけない点が多々あり、在宅酸素療法は今尚発展途上であると考えおります。

弊社は患者様方の安心と安全を第一に活動しております。すべての患者様方に安心して安全に在宅療法生活を送っていただけますよう、様々な備えをしております。たとえば去年の新潟地震では、被災地の方々は大変なご苦労をなされました。宮城県でも過去強い地震にみまわれておりますので他人事ではございませんが、「一旦地震が起きたら、酸素の供給はどうなってしまうのだろうか。」在宅酸素療法の患者様方は皆ご心配されておられます。弊社は、お一人お一人にご心配な点をお伺いしまして、緊急ポンベの追加配備、第二連絡先、避難予定先確認などをして備えを進めております。

今年も皆様方のお役にたてますよう、一層努力してまいる所存でございます。白鳥会様からのご指導をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、東北白鳥会様と會員の皆様のみまますのご発展ご活躍を心よりお祈り申し上げます。